

## 人間はミスをすることがある！ だからこそ、正しい報告と それに基づく原因究明を！

### ●事象内容

2023年8月9日、八戸線435D列車が八戸駅発車場面で自動放送が流れず、13分遅発する事象が発生しました。運転士は車両活殺等の処置を行ったところ、放送の不具合は解消しましたが、この遅れによって上りの交換列車にも遅れが生じ、新幹線が不接続となりました。

### ●事象の経緯

この事象は、1430Dが八戸駅到着後435Dとなる運用であり、1430D到着運転士は八戸到着後、約40分列車監視し435D列車の運転士に乗り継ぐことになっています。その乗継手順として、久慈方新運転台の「運転台選択スイッチ」の「前」のみを行い乗り継ぐことになっていましたが、「ワンマン NFB」を「入」、「ワンマン系統番号を設定」し435D列車の運転士が行う作業を行い、ワンマン系統番号を設定したことで3~4分おきに、自動放送が流れるのを止めるために、「自動放送中止ボタン」を扱いました。その後乗り継いだ435D列車の運転士に「自動放送中止ボタン」を扱っている旨の引継ぎをしなかったため、発車場面で自動放送が流れなかったことを車両不具合と判断しました。

### ●435Dに乗り継いだ1430D到着運転士、その後の対応

列車の遅れを知った1430D到着運転士は、「自分が自動放送を切ったことが原因かも」と自区当直に報告しました。当直からは「おおごとにしないでいい」「自山の石にしておけ」と言われたことを、その場にいた社員にも話をしています。その後に分会組合員も、当直から言われたことを当該社員に確認しています。

## 事象の真実は??

1430Dの到着運転士は、正しい報告をしましたが、当直の発言と事象が共有されず、事象発生から数日が経過しても原因が特定されませんでした！

## 職場からは多くの不安の声が

今回の事象の真実は？ ・ 事象の速やかな報告がされないのはなぜか？ ・  
正しい報告をしたのに会社は隠蔽しようとしたのか？ ・ 当直はなぜ事象を共有しなかったのか？  
訓練で事実ではない内容が伝えられている！ ・ 真実に基づいた原因究明ができていない！  
会社は調査した内容も明らかにせず、全てを隠ぺいしようとしているのではないか？  
このままでは安全は守られない！ ………

